

IBM



## Everyplace Client

*for Symbian for Nokia*

本書は、IBM Everyplace Client バージョン 5.0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： IBM  
Everyplace Client  
for Symbian for Nokia

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2004.11

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体\*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注\* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2004. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2004

# 目次

<b>第 1 章 概要</b> . . . . .	<b>1</b>	Sametime Connect サーバーの要件 . . . . .	17
Everyplace Client 5.0 ユーザーズ・ガイドの表記規則	1	Sametime Connect の用語 . . . . .	17
Everyplace Client について . . . . .	1	Sametime Connect へのログオン . . . . .	18
関連資料 . . . . .	2	接続設定の変更 . . . . .	18
<b>第 2 章 インストール</b> . . . . .	<b>3</b>	Sametime Connect メニューの操作 . . . . .	19
要件 . . . . .	3	他の Sametime Connect ユーザーへのメッセージの送 信 . . . . .	20
Nokia Communicator の要件 . . . . .	3	チャットの管理 . . . . .	20
Sametime Connect サーバーの要件 . . . . .	3	ユーザーまたはグループの管理 . . . . .	21
サーバーの要件 . . . . .	3	Sametime Connect ユーザーの追加 . . . . .	21
Nokia Communicator への Everyplace Client のイン ストール . . . . .	4	ワイルドカードを使用する Sametime Connect ユ ーザーの検索 . . . . .	22
Sametime Connect のインストール . . . . .	5	Sametime Connect ユーザーの削除 . . . . .	22
DB2 Everyplace データベース・クライアントのイ ンストール . . . . .	5	ユーザーのニックネームの編集 . . . . .	22
オプション - .der 形式のデジタル証明書のイン ストール . . . . .	5	オンライン状況の変更 . . . . .	23
現在のオンライン状況メッセージの編集 . . . . .	5	現在のオンライン状況メッセージの編集 . . . . .	23
<b>第 3 章 Everyplace Client 入門</b> . . . . .	<b>7</b>	Sametime Connect 設定の変更 . . . . .	23
同期プロファイルの作成 . . . . .	7	Sametime Connect のクローズ . . . . .	24
Everyplace Client の起動 . . . . .	8	Sametime Connect のヒント . . . . .	25
「My own」ボタンの構成による Everyplace Client の 起動 . . . . .	8	Sametime Connect フレームのナビゲート . . . . .	25
ネットワーク・プロファイルの構成 . . . . .	8	検索機能の使用 . . . . .	25
Everyplace Client ユーザー・インターフェースの使用	9	Sametime Connect での E メール・ホット・リン クの操作 . . . . .	25
Everyplace Client の終了 . . . . .	9	<b>第 6 章 トラブルシューティング</b> . . . . .	<b>27</b>
<b>第 4 章 Everyplace Client の使用</b> . . . . .	<b>11</b>	Everyplace Client のエラー・メッセージ . . . . .	27
ホット・キーの使用 . . . . .	11	新規連絡先の作成 . . . . .	28
Everyplace Client アプリケーションの開始および終 了 . . . . .	11	時間帯の管理 . . . . .	29
データの同期化 . . . . .	12	カレンダーの招待の操作 . . . . .	29
すべてのアプリケーションの同期化 . . . . .	12	Mobility Client による SSL サーバーへの Everyplace Client の同期化 . . . . .	29
1 つのアプリケーションの同期化 . . . . .	13	<b>第 7 章 Everyplace Client のアンイン   ストール</b> . . . . .	<b>31</b>
スケジュール済み同期の構成 . . . . .	13	<b>付録. 著作権および商標</b> . . . . .	<b>33</b>
メールの使用 . . . . .	14	著作権 . . . . .	33
デバイス管理の操作 . . . . .	14	商標 . . . . .	33
デバイス管理サーバー (DMS) でのデバイスの作 成 . . . . .	15	<b>索引</b> . . . . .	<b>35</b>
デバイス構成ジョブの作成 . . . . .	15		
ソフトウェア更新の操作 . . . . .	15		
<b>第 5 章 Sametime Connect</b> . . . . .	<b>17</b>		



---

## 第 1 章 概要

IBM® Everyplace® Client は、機密保護機能のある環境で WebSphere® Everyplace Access サーバーとのデータ同期をサポートする Nokia Communicator のアプリケーションです。

Everyplace Client の詳細については、以下のセクションを参照してください。

- Everyplace Client 5.0 ユーザーズ・ガイドの表記規則
- Everyplace Client について
- 関連資料

---

### Everyplace Client 5.0 ユーザーズ・ガイドの表記規則

本書で使用されている表記規則については、このセクションを参照してください。

- 不等号括弧 — 不等号括弧で囲まれた語 (例えば、<Menu>) は、デバイスのキーパッドに「メニュー」というラベルのボタンがあることを示しています。このボタンの機能を実行するには、デバイスのキーパッドで、不等号括弧内の文字のボタンを押す必要があります。
- ホット・キーの組み合わせ — ホット・キーを使用するには、複数のボタンを押す必要があります。2 つの語が正符号 (+) で連結されている場合 (例えば、**Ctrl +E**)、この機能を実行するには、ラベルが **Ctrl** のボタンと **E** のボタンを同時に押す必要があります。

---

### Everyplace Client について

Everyplace Client では、お客様の組織の技術サポート担当者が Everyplace ID、パスワード、および同期プロファイルを WebSphere Everyplace Access サーバーで作成する必要があります。WebSphere Everyplace Access サーバーの詳細については、インフォメーション・センターを参照してください。

次に、Everyplace Client 5.0 が Nokia Communicator 向けに提供しているコンポーネントを示します。

#### **E メール機能および PIM 機能 (Sync Client)**

Nokia Communicator 向けの Everyplace Client は、Lotus® Domino® サーバーおよび Microsoft® Exchange サーバーと PIM データおよび E メール・データの同期をとります。Nokia Communicator 向けの Everyplace Client は、Nokia が提供している Sync Application を使用します。

#### **Everyplace Client ユーザー・インターフェース**

Everyplace Client 5.0 は、同期アプリケーションおよび非同期アプリケーションに対する、統合された単一ユーザー・インターフェースを提供します。

#### **Sametime® Connect**

Sametime Connect を使用すると、他の Sametime Connect ユーザーとインスタント・メッセージでのチャットができます。

### データベースの同期

Everyplace Client では、データベース同期エンジンとして DB2 Everyplace がサポートされています。

注: DB2 Everyplace での作業についての詳細は、DB2 Everyplace ソフトウェアに付属の資料を参照してください。

### Server Initiated Action (SIA)

Server Initiated Action を使用すると、サーバーはサーバーと Nokia Communicator の間でデータを同期化できるようになります。サーバーは、Short Message Service (SMS) を介して、デバイスとの同期化を自動的に開始します。

### デバイス管理

デバイス管理を使用すると、ソフトウェアおよびデバイス構成の更新情報をサーバーから受信できます。

---

## 関連資料

Everyplace Client の詳細については、以下の資料を参照してください。

- WebSphere Everyplace Access インフォメーション・センター
- Nokia Communicator のユーザーズ・ガイド
- Mobility Client のユーザーズ・ガイド (Nokia Communicator 版)
- DB2 Everyplace の資料
- WebSphere Everyplace Access サポート・ページは以下のとおりです。  
[http://www.ibm.com/software/pervasive/ws\\_everyplace\\_access/support/](http://www.ibm.com/software/pervasive/ws_everyplace_access/support/)

注: WebSphere Everyplace Access 製品資料のリストを入手するには、上の URL を開き、「Learn」トピックの下の「**Product information and publications**」をクリックしてください。

---

## 第 2 章 インストール

このセクションでは、Everyplace Client ソフトウェアをインストールして実行するために Nokia Communicator デバイスが満たす必要がある要件について説明します。このセクションには、Everyplace Client をデバイスにインストールするために必要な説明も記載されています。要件を検討し、インストールの手順に従って Everyplace Client をインストールしてください。

- 要件
- Nokia Communicator への Everyplace Client のインストール

---

### 要件

Everyplace Client をインストールする前に、デバイスとサーバーが以下の要件を満足していることを確認してください。

- Nokia Communicator の要件
- Sametime Connect サーバーの要件
- サーバーの要件

### Nokia Communicator の要件

Everyplace Client のインストール、および WebSphere Everyplace Access Server との同期化を実行する前に、Nokia Communicator が以下の要件を満足していることを確認してください。

- Everyplace Client と WebSphere Everyplace Access Server を同期化するには、その前に、ネットワーク接続機能を提供する Nokia Communicator に Internet Access Point (IAP) を作成する必要があります。
- Secure Sockets Layer (SSL) を使用してアプリケーションを同期化する場合は、デジタル証明書をインストールする必要があります。デジタル証明書のインストールの詳細については、オプション - .der 形式のデジタル証明書のインストールを参照してください。

### Sametime Connect サーバーの要件

Sametime Connect サーバー要件のリストについては、Sametime Connect サーバーの要件を参照してください。

### サーバーの要件

お客様の組織の技術サポート担当者に問い合わせて、以下のサーバー要件を満足していることを確認してください。

- Nokia Communicator で Everyplace Client 5.0 を実行するには、WebSphere Everyplace Access Server オペレーティング・バージョン 5.0 が接続先およびアクセス先になっている必要があります。要求されている前提条件をサーバーがすべて満足していることを確認するには、WebSphere Everyplace Access Server のインフォメーション・センターを参照してください。

- Everyplace Client をサーバーに同期させるには、お客様の組織の技術サポート担当者が Everyplace ID、パスワード、およびデバイス・プロフィールをサーバーで作成する必要があります。

---

## Nokia Communicator への Everyplace Client のインストール

**Everyplace 9500YYYYMMDD\_TIME.zip** ファイルには、Nokia Communicator 版の Everyplace Client、Sametime Connect、DB2 Everyplace データベース・クライアント、Everyplace Client User's Guide for the Nokia Communicator、Everyplace Client の Read Me ファイルが収録されています。これらのコンポーネントは任意の順序でインストールできます。例えば、Everyplace Client をインストールする前に Sametime Connect をインストールできます。

**注: Everyplace 9500YYYYMMDD\_TIME.zip** で、YYYYMMDD\_TIME は .zip ファイルが作成されたときのタイム・スタンプを表します。

Everyplace Client を Nokia Communicator にインストールするには、以下の手順を参照してください。

1. **Everyplace 9500YYYYMMDD\_TIME.zip** の内容を、PC のディレクトリー上で unzip します。
2. **wea9500.sis** ファイルを選択し、赤外線 (IR) ポートを使用してこのファイルを Nokia Communicator に転送します。Sametime Connect または DB2 Everyplace データベース・クライアントをインストールする場合は、**sametime9500.sis** と、使用言語の **DB2e814.zip** の内容を Nokia Communicator に転送してください。

**注:** 赤外線ポートを使用してファイルを転送すると、Nokia Communicator はこのファイルを E メール受信箱に格納します。IR ポート使用の詳細については、Nokia Communicator のユーザーズ・ガイドを参照してください。

3. **<Messaging>** ボタンを押して**メッセージング・アプリケーション**を開き、受信箱を選択します。
4. 矢印ボタンを使用して **wea9500.sis** を選択し、「開く」の隣にあるボタンを押します。
5. 「**ファイルの保管 (Save File)**」パネルの「開く」の隣にあるボタンを押し、Everyplace Client 5.0 の Nokia Communicator へのインストールを開始します。

**注:** 「開く」を選択すると、インストールのセキュリティー警告が表示されます。インストールを継続するには、「**今すぐインストール (Install anyway)**」の隣にあるボタンを押します。

6. 「**アプリケーションのインストール (About to install application)**」パネルで、「インストール」を選択して、Everyplace Client のインストールを開始します。
7. 「**デスクに追加 (Add to desk)**」パネルで、矢印キーを使用して、Everyplace Client のショートカットのインストール先にする Nokia Communicator の場所を選択します。「**選択**」の隣にあるボタンを押して、値を「はい」または「いいえ」に設定します。Everyplace Client インストーラーは、この値が「はい」に設定されたすべてのグループに対して Everyplace Client ショートカットをインストールします。
8. 「**デスクに追加 (Add to desk)**」パネルで Everyplace Client ショートカットのインストール先を決定したら、「**OK**」の隣のボタンを押します。



注: Everyplace Client を起動するように「My own」ボタンを構成しないかぎり、Nokia Communicator 上の Everyplace Client を起動するときは、このショートカットを使用します。「My own」ボタンの構成の詳細については、「My own」ボタンの構成による Everyplace Client の起動を参照してください。

9. 「インストール完了 (Install complete)」パネルが表示されたら、「OK」の隣のボタンを押します。

## Sametime Connect のインストール

Sametime Connect を Nokia Communicator にインストールするには、以下の手順を参照してください。

1. <Messaging> ボタンを押してメッセージング・アプリケーションを開き、受信箱を選択します。
2. 矢印ボタンを使用して **sametime9500.sis** を選択し、「開く」の隣にあるボタンを押します。
3. 「ファイルの保管 (Save file)」パネルの「開く」の隣にあるボタンを押して、Sametime Connect の Nokia Communicator へのインストールを開始します。

注: 「開く」を選択すると、インストールのセキュリティー警告が表示されます。インストールを継続するには、「今すぐインストール (Install anyway)」の隣にあるボタンを押します。

4. 「アプリケーションのインストール (About to install application)」パネルで、「インストール」を選択して、Sametime Connect のインストールを開始します。
5. 「デスクに追加 (Add to desk)」パネルで、矢印キーを使用して、Sametime Connect のショートカットのインストール先にする Nokia Communicator の場所を選択します。「選択」の隣にあるボタンを押して、値を「はい」または「いいえ」に設定します。Everyplace Client インストーラーは、この値が「はい」に設定されたすべてのグループに対して Sametime Connect ショートカットをインストールします。
6. 「デスクに追加 (Add to desk)」パネルで Sametime Connect ショートカットのインストール先を決定したら、「OK」の隣のボタンを押します。

## DB2 Everyplace データベース・クライアントのインストール

DB2 Everyplace をインストールして、Nokia Communicator 上の DB2 Everyplace データベース・アプリケーションを同期化させる場合は、DB2 Everyplace ソフトウェア・パッケージに付属の資料に記載されている、DB2 Everyplace のインストールおよび構成方法の説明を参照してください。

## オプション - .der 形式のデジタル証明書のインストール

オプション — Secure Sockets Layer (SSL) を使用してアプリケーションを同期化する場合、.der 形式のデジタル証明書をインストールします。

注: 必要な .der 形式のデジタル証明書を取得するには、お客様の組織の技術サポート担当者に連絡してください。

.der 形式のデジタル証明書を Nokia Communicator にインストールして構成するには、以下の手順を参照してください。

1. お客様の組織の技術サポート担当者から **\*.der** ファイルを入手したら、\*.der ファイルを選択し、赤外線 (IR) ポートを使用してこのファイルを Nokia Communicator に転送します。

注: 赤外線ポートを使用して **\*.der** ファイルを転送すると、Nokia Communicator はこのファイルを E メールを受信箱に格納します。IR ポート使用の詳細については、Nokia Communicator のユーザーズ・ガイドを参照してください。

2. 「**メッセージング**」アプリケーションを開き、受信箱を選択します。
3. 矢印キーを使用して **\*.der** ファイルを選択し、「**開く**」の隣にあるボタンを押します。
4. 「**保管**」の隣にあるボタンを押して、デバイス上の場所にファイルを保管します。ファイルを保管したら、「**終了**」の隣にあるボタンを押します。
5. デスクトップからデバイスの「**コントロール・パネル**」を開き、「**セキュリティ**」->「**証明書マネージャー (Certificate Manager)**」を選択します。
6. 「**その他**」タブを選択します。
7. 「**追加**」の隣にあるボタンを押し、矢印キーを使用して .der 形式の証明書ファイルを参照します。
8. 「**その他**」タブを選択します。
9. 矢印キーを使用してスクロールダウンし、追加した .der 形式の証明書を選択します。
10. 「**詳細の表示**」の隣にあるボタンを押します。
11. 「**設定を信頼 (Trust Settings)**」の隣にあるボタンを押します。
12. 「**インターネット**」パラメーターを「**はい**」に設定します。
13. 「**完了**」の隣にあるボタンを押して、「**閉じる**」->「**閉じる**」を選択します。
14. 「**終了**」の隣にあるボタンを押して、デバイスのデスクトップに戻ります。

---

## 第 3 章 Everyplace Client 入門

Everyplace Client をインストールしたら、構成して適切なサーバーに接続します。Everyplace Client を構成して WebSphere Everyplace Access Server に接続するために必要な情報については、お客様の組織の技術サポート担当者に連絡してください。例えば、WebSphere Everyplace Access Server のサーバー・アドレスが必要になります。

Everyplace Client の詳細については、以下のセクションを参照してください。

- 同期プロファイルの作成
- Everyplace Client の起動
- 「My own」ボタンの構成による Everyplace Client の起動
- ネットワーク・プロファイルの構成
- Everyplace Client ユーザー・インターフェースの使用
- Everyplace Client の終了

---

### 同期プロファイルの作成

デバイス上のアプリケーションと同期をとるには、まず Everyplace Synchronization Server にデバイス同期プロファイルを作成しておく必要があります。このプロファイルは、デフォルトの同期プロファイル上に作成することや、デフォルトの同期プロファイルを基本にすることができます。あるいは、お客様の組織の技術サポート担当者が作成したプロファイルを使用することもできます。

**注:** Everyplace Synchronization Server にデバイス同期プロファイルをセットアップすることの詳細については、Everyplace Synchronization Server インフォメーション・センターを参照して、「**Everyplace Synchronization Server**」->「**構成**」->「**デバイス・プロファイルの作成**」のトピックを選択します。

デバイス同期プロファイルをセットアップする場合は、以下に示す Nokia Communicator の E メール・フィルター設定を使用してください。

- 添付ファイル - 一切含めない

**注:** Everyplace Client のアプリケーションでは、添付ファイルはサポートされていません。

データの競合に備えて、サーバーまたはデバイス・データの優先順位に関するデバイス同期プロファイル・オプションを構成することもできます。このオプションを構成するには、Everyplace Synchronization Server インフォメーション・センターを参照してください。

---

## Everyplace Client の起動

Everyplace Client を起動するには、Everyplace Client のインストール時に作成した Everyplace Client のショートカットを選択し、「開く」の隣にあるボタンを押します。

注: Everyplace Client を起動するように「**My own**」ボタンを構成している場合は、<My own> を押して Everyplace Client を開きます。「**My own**」ボタンを構成して Everyplace Client を起動する方法については、後述の『「**My own**」ボタンの構成による Everyplace Client の起動』を参照してください。

Everyplace Client を起動すると、Everyplace Client はネットワーク・プロファイル情報を検索します。Everyplace Client がネットワーク・プロファイル情報を検索できなかった場合は、「ネットワーク・プロファイル」画面が表示されます。

Everyplace Client を使用できるようにするには、ネットワーク・プロファイルを構成しておく必要があります。ネットワーク・プロファイル構成の詳細については、ネットワーク・プロファイルの構成を参照してください。

Everyplace Client がネットワーク・プロファイル情報を検出した場合、Everyplace Client はメインのビュー・パネルを表示します。

---

## 「My own」ボタンの構成による Everyplace Client の起動

Nokia Communicator キーパッドの「**My own**」ボタンを構成すると、Everyplace Client を起動できます。

Nokia Communicator キーパッドの「**My own**」ボタンを構成して Everyplace Client を起動するには、以下の手順を参照してください。

注: 別のアプリケーションを起動するように「**My own**」ボタンを構成している場合、以下の手順を実行すると、そのアプリケーションとの関連が削除されます。

1. <Ctrl> キーと <My own> を同時に押したまま保持します。
2. 「アプリケーションの選択」パネルが表示されたら、矢印キーを使用して Everyplace Client を選択します。
3. 「完了」の隣にあるボタンを押します。

「**My own**」ボタンを構成した後は、「**My own**」ボタンを押すことにより Everyplace Client を起動できます。

---

## ネットワーク・プロファイルの構成

Everyplace Client をサーバーと同期化するには、ネットワーク・プロファイルを作成しておく必要があります。ネットワーク・プロファイルを使用すると、デバイスの接続先にするサーバーを指定できます。

ネットワーク・プロファイルにアクセスするには、以下の手順を参照してください。

1. Everyplace Client を起動します。

注: Everyplace Client の起動は今回が初めてであり、さらにお客様の組織の技術サポート担当者がネットワーク・プロファイルを構成していない場合、Everyplace Client は「ネットワーク・プロファイル」ダイアログ・ボックスを表示します。

2. <Menu> を押して「ツール」->「ネットワーク・プロファイル」を選択し、「選択」の隣にあるボタンを押します。「ネットワーク・プロファイル」ダイアログ・ボックスが表示されます。
3. お客様の組織の技術サポート担当者が設定した設定値に従って、以下のオプションを構成します。

#### Everyplace ID

Everyplace ID を入力します。

#### パスワード

Everyplace パスワードを入力します。

注: 確認のため、パスワードは 2 回入力する必要があります。

#### Internet Access Point (IAP)

IAP を選択するには、<Change> を押し、以前にネットワーク接続を構成した IAP を選択します。IAP の作成および構成の詳細については、Nokia Communicator のユーザーズ・ガイドを参照してください。

#### Everyplace Sync Server URL

「Everyplace Synchronization Server URL」については、お客様の組織の技術サポート担当者に問い合わせてください。「your.server.com」の部分は、お客様の組織の技術サポート担当者から連絡されたサーバーのホスト名に置き換えてください。

#### オンライン・ホーム URL

このフィールドは、将来の利用のために予約されています。

注: 前述の設定値のいずれかを削除した場合、Everyplace Client ではデバイスから設定値が削除されるため、接続を再確立するには設定値を再入力する必要があります。

4. 完了したら、「OK」を選択して変更内容を保管し、「ネットワーク・プロファイル」ダイアログ・ボックスを閉じます。

---

## Everyplace Client ユーザー・インターフェースの使用

Everyplace Client では、Nokia Communicator に表示されるその他のアプリケーションと同様なユーザー・インターフェースを使用しています。Everyplace Client 内のメニューにアクセスするには、キーボードの <Menu> を押し、矢印キーを使用して目的のオプションまで移動します。

---

## Everyplace Client の終了

アプリケーションを終了するには、「閉じる」を選択するか、ホット・キーを使用します。ホット・キーを使用するには、Ctrl + E を同時に押します。



---

## 第 4 章 Everyplace Client の使用

このセクションでは、以下の内容について説明します。

- ホット・キーの使用
- Everyplace Client アプリケーションの開始および終了
- メールの使用
- データの同期化
- デバイス管理の操作

---

### ホット・キーの使用

Everyplace Client のメニュー・オプションにアクセスするには、Nokia Communicator のホット・キー・ショートカットを使用します。

ホット・キー・ショートカットは、特定のメニュー項目にアクセスするときに使用してください。以下の表に、Everyplace Client を介して利用できるホット・キー・ショートカットの一覧とその機能を示します。

#### 「ファイル」メニュー

- <Ctrl> + O: 選択したアプリケーションを開きます。
- <Ctrl> + R: 指定したアプリケーションを同期化します。
- <Shift> + <Ctrl> + R: すべてのアプリケーションを同期化します。
- <Ctrl> + E: Everyplace Client を終了します。

#### 「ツール」メニュー

- <Ctrl> + L: Everyplace Client ログ・ファイルを表示します。

---

### Everyplace Client アプリケーションの開始および終了

以下のアプリケーションは、Everyplace Client のデスクトップから開始できます。

- メール
- 予定表 - 作業リストと予定表は、予定表アプリケーションに組み込まれていません。
- 連絡先
- Sametime Connect
- ソフトウェア更新

アプリケーションを開始するには、矢印キーを使用してデスクトップ上のアプリケーションを選択し、デバイスの右側にある「開く」の隣のボタンを押します。

---

## データの同期化

Everyplace Client では、デバイスのデータをサーバーのデータと同期させるために、同期アプリケーションを使用します。Everyplace Client では、初期同期化時に同期プロファイルが作成されるため、同期アプリケーションを構成する必要はありません。

すべてのアプリケーションを一度に同期化したり、一度に 1 つずつアプリケーションを同期化したり、スケジュール済み同期を構成したりできます。同期化を実行すると、Everyplace Client により、Nokia Communicator 上のデータと選択したアプリケーションに対応するサーバー上のデータが同期化されます。Everyplace Client を使用すると、E メール・メッセージ、連絡先情報、および予定表の予約 (予定や作業など) を同期化できます。

データ同期化の詳細については、以下のトピックを参照してください。

- すべてのアプリケーションの同期化
- 1 つのアプリケーションの同期化
- スケジュール済み同期の構成

### すべてのアプリケーションの同期化

すべてのアプリケーションを同期化するには、以下の手順を参照してください。

1. メインパネルで、「すべてを同期化 (Sync All)」の隣にあるボタンを押します。

Everyplace Client では、データの同期化中、アプリケーションごとに進行標識が表示されます。

同期化が完了すると、Everyplace Client には、送信済み項目と受信済み項目を示す状況メッセージが表示されます。このメッセージにより、Everyplace Client によって正常に同期化されたアプリケーションの数と、同期化に失敗したアプリケーションの数が分かります。

アプリケーション状況の隣に表示される日付は、このアプリケーションの同期化を最後に実行した日付を表しています。

**注:** 同期化の詳細説明については、同期ログを参照してください。同期化の完了後にログを開くには、「ログを表示」の隣にあるボタンを押します。

2. 同期操作エラーが検出された場合は、Everyplace Client に状況メッセージが表示され、操作が失敗したことが通知されます。次のいずれかを実行してください。
  - a. 「OK」の隣にあるボタンを押して、エラー・メッセージを閉じます。

**注:** 同期化中にエラーが検出されたアプリケーションには、その状況標識の隣にエラー・アイコンが表示されます。

- b. 再度同期化するには、「再試行」の隣にあるボタンを押します。
- c. 同期化が失敗した理由の詳細なエラー・ログを表示するには、「ログを表示」の隣にあるボタンを押します。
- d. ネットワーク・プロファイル設定を構成したことを確認するには、「ネットワーク・プロファイル」の隣にあるボタンを押します。



## 1 つのアプリケーションの同期化

1 つのアプリケーションを同期化するには、以下の手順を参照してください。

1. 同期化するアプリケーションを矢印キーを使用して強調表示し、「同期」の隣にあるボタンを押します。

Everyplace Client の画面には、データの同期化中、対象のアプリケーションの進行標識が表示されます。

同期化が完了すると、Everyplace Client には、送信済み項目と受信済み項目を示す状況メッセージが表示されます。このメッセージにより、Everyplace Client による同期化が正常に実行されたか、または同期化が失敗したかが分かります。

アプリケーション状況の隣に表示される日付は、このアプリケーションの同期化を最後に実行した日付を表しています。

**注:** 同期化の詳細説明については、同期ログを参照してください。同期化の完了後にログを開くには、「ログを表示」の隣にあるボタンを押します。

2. 同期操作エラーが検出された場合は、Everyplace Client に状況メッセージが表示され、操作が失敗したことが通知されます。次のいずれかを実行してください。
  - a. 「OK」の隣にあるボタンを押して、エラー・メッセージを閉じます。

**注:** 同期化中にエラーが検出されたアプリケーションには、その状況標識の隣にエラー・アイコンが表示されます。

- b. 再度同期化するには、「再試行」の隣にあるボタンを押します。
- c. 同期化が失敗した理由の詳細なエラー・ログを表示するには、「ログを表示」の隣にあるボタンを押します。
- d. ネットワーク・プロファイル設定を構成したことを確認するには、「ネットワーク・プロファイル」の隣にあるボタンを押します。

## スケジュール済み同期の構成

サーバーからデバイスへのデータをデバイスが指定の日時に自動的に同期化するには、スケジュール済み同期を使用します。

**注:** スケジュール済み同期を使用するように Everyplace Client を構成した場合は、定期的にネットワーク接続を求められる可能性があります。

スケジュール済み同期を構成するには、以下の手順を実行します。

1. <Menu> ボタンを押します。
2. 矢印キーを使用して「ツール」を選択します。
3. 矢印キーを使用して「ツール」メニューの「スケジュール済み同期」を選択し、「選択」の隣にあるボタンを押します。
4. 矢印キーを使用して「スケジュール済み同期」を選択し、「同期」モードにします。
5. 「間隔」フィールドでは、アプリケーションの同期化に適用する時間間隔を選択します。例えば「10 分」を選択した場合、デバイスは 10 分ごとに同期化します。

6. 矢印キーを使用して、同期化するアプリケーションを選択します。スケジュール済み同期を使用してこのアプリケーションを同期化する場合は「はい」を選択し、このアプリケーションをスケジュール同期の対象にしない場合は「いいえ」を選択します。
7. スケジュール済み同期の構成が完了したら、「完了」の隣にあるボタンを押します。

注: スケジュール済み同期を使用しない場合は、矢印キーを使用して「**手動同期 (Manual sync)**」を選択し、「**同期モード**」にします。

---

## メールの使用

Everyplace Client のメール・アプリケーションを使用すると、WebSphere Everyplace Access Server と同期化することによって、E メール・メッセージを送信および受信できるようになります。E メール・アプリケーションを初めて同期化すると、Everyplace Client によって **Everyplace** というメール・フォルダーがデバイスに作成されます。Everyplace Client のメール・アプリケーションは、リモート・メール・フォルダーの **Inbox** フォルダーと **Outbox** フォルダーのみをサポートします。

注: Everyplace Client のメール・アプリケーションでは、添付ファイルはサポートされていません。

**Everyplace Client** のメール・アプリケーションにアクセスするには、以下の手順を実行します。

1. 矢印キーを使用して Everyplace Client のデスクトップから「**メッセージング**」を選択し、「**開く**」の隣にあるボタンを押します。「**メッセージング**」ダイアログ・ボックスが表示されます。
2. 矢印キーを使用して **Everyplace** フォルダーを選択し、「**フォルダーを開く (Open Folder)**」の隣にあるボタンを押します。

メッセージを作成するには、以下の手順を実行します。

メール・サーバーと同期化する E メールを作成するには、矢印キーを使用して「**メッセージの作成 (Write message)**」を選択し、矢印を下に向けて「**リモート・メール**」を選択します。Everyplace Client は、E メール・アプリケーションとサーバーの同期化が完了するまで、作成したすべてのメールを **Everyplace** フォルダーの **Outbox** に置きます。

---

## デバイス管理の操作

以下のトピックについての詳細は、このセクションを参照してください。

- デバイス管理サーバー (DMS) でのデバイスの作成
- デバイス構成ジョブの作成
- ソフトウェア更新の操作

注: Nokia Communicator のデバイス管理では、Nokia が提供しているデバイス・マネージャー・アプリケーションを使用します。

## デバイス管理サーバー (DMS) でのデバイスの作成

お客様の組織の技術サポート担当者がサーバー上にデバイスを作成します。詳しくは、お客様の組織の技術サポート担当者にお問い合わせください。

## デバイス構成ジョブの作成

お客様の組織の技術サポート担当者がデバイス構成ジョブを作成します。詳しくは、お客様の組織の技術サポート担当者にお問い合わせください。お客様の組織の技術サポート担当者がすでにデバイス構成ジョブを作成した場合は、ソフトウェア更新の操作を参照して、デバイス構成ジョブをデバイスに同期させます。

## ソフトウェア更新の操作

ソフトウェア更新の操作についての詳細は、以下を参照してください。

- ソフトウェア更新用にデバイスを構成する
- デバイスでソフトウェア更新を実行する

### ソフトウェア更新用にデバイスを構成する

デバイスでソフトウェア更新を実行するには、事前にソフトウェア更新を構成する必要があります。デバイスでソフトウェア更新を構成する場合は、以下の説明を参照してください。

1. デバイスで **Everyplace Client** を開きます。
2. 矢印キーを使用して「ソフトウェア更新」にスクロールし、「開く」の隣にあるボタンを押します。
3. デバイスの **<Menu>** ボタンを押して、「ファイル」メニューから「新規作成」を選択します。
4. 次の質問が表示された場合は、「キャンセル」の隣にあるボタンを押してください。

**選択されたプロファイルからデータをコピーしますか? (Do you want to copy data from selected profile?)**

5. 「プロファイル設定 (**Profile settings**)」パネルで、以下のタブにある情報を完成させます。
  - **サーバー**: お客様の組織の技術サポート担当者にお問い合わせ、このタブの情報を完成させてください。
  - **接続**:
    - a) ネットワークへのアクセスに使用する「**接続タイプ**」と「**アクセス・ポイント**」を選択します。
    - b) 「**ホスト・アドレス (Host address)**」には DMS サーバーのアドレスを入力します。例、`http://your.dms.server.com/dmsserver/SyncMLDMServlet`

注: 上記の例に示したように、ホスト・アドレスの最後に **/dmsserver/SyncMLDMServlet** を付加する必要があります。

c) ネットワークへの接続に使用するポート番号を入力します。

- **ユーザー**: お客様の組織の技術サポート担当者にお問い合わせ、このタブの情報を完成させてください。
6. 「完了」の隣にあるボタンを押して、プロファイルを完了します。

## デバイスでソフトウェア更新を実行する

デバイス構成ジョブをデバイスに同期させるには、以下の手順を参照してください。

1. Everyplace Client を開き、矢印キーを使用して「ソフトウェア更新」にナビゲートし、「開く」の隣にあるボタンを押します。
2. 「Device Manager」パネルで、「接続」の隣にあるボタンを押します。

注: 「接続」の隣にあるボタンを押すと、デバイス・マネージャーはサーバーに同期し、新しいデバイス構成ジョブを検索します。

---

## 第 5 章 Sametime Connect

Sametime Connect により、オンラインの友人および同僚のリストを保守できるため、相手を特定してリアルタイムで安全な通信が可能となります。Sametime Connect では、ユーザー・リストを作成できます。作成したリストには、公開アドレス帳に定義されているグループや、各ユーザーが定義した個人グループを登録できます。Sametime Connect にログインしていると、リスト内のユーザーがネットワークにログインしたときに通知されるので、そのユーザーにインスタント・メッセージを送信できます。

Sametime Connect の詳細については、以下のトピックを参照してください。

- Sametime Connect サーバーの要件
- Sametime Connect の用語
- Sametime Connect へのログオン
- Sametime Connect メニューの操作
- 他の Sametime Connect ユーザーへのメッセージの送信
- ユーザーまたはグループの管理
- オンライン状況の変更
- Sametime Connect 設定の変更
- Sametime Connect のクローズ
- Sametime Connect のヒント

---

### Sametime Connect サーバーの要件

Sametime Connect と Everyplace Client を組み合わせて実行するには、以下の Server と Server Extensions が必要です。

- Sametime Server 3.0 または 3.1
- Sametime Server Extensions for Mobile Access

注: Sametime Connect の既存のお客様は、Sametime Server Extensions for Mobile Access を Passport Advantage® Web サイトからダウンロードできます。

---

### Sametime Connect の用語

Sametime Connect の詳細については、以下に示す Sametime Connect 用語のリストを参照してください。

#### メッセージ

2 名の Sametime Connect ユーザー間で交換されるテキスト・メッセージ。

#### グループ

Sametime Connect では、単一グループ名の下位に連絡先のグループを編成できます。例えば、作業というグループを作成し、「仕事」グループの下位に「仕事」連絡先の全員をまとめることができます。基本的には、次の 2 種類のグループがあります。

- 公開 — 公開グループは、会社の公開アドレス帳で定義されたグループです。公開グループのメンバーシップは、公開アドレス帳の所有者が管理および定義します。
- 個人 — 個人グループは、各ユーザーが定義したユーザーのグループです。個人グループには、個人ユーザーを追加または削除できます。

### オンライン状況

オンライン状況とは、Sametime Connect Server 上での Sametime Connect ユーザーのアクティブ状況のことを指します。Sametime Connect では、以下の状況オプションのいずれかを選択するか、または独自のカスタム状況メッセージを作成できます。

**注:** カスタムの離席中メッセージを作成し、残しておくことができます。カスタムの離席中メッセージ作成の詳細については、現在のオンライン状況メッセージの編集を参照してください。

- オフライン — Sametime Connect ユーザーはログオンしておらず、チャットは利用できません。
- アクティブ — Sametime Connect ユーザーがログオンしており、チャットが利用できます。
- 離席中 — Sametime Connect ユーザーはログオンしているが、現在はコンピューターから離れた場所にいます。
- 応答不可 — Sametime Connect ユーザーはログオンしているが、他のことに気をとられたくない状況です。

---

## Sametime Connect へのログオン

Sametime Connect を起動すると、ログイン・パネルが表示されます。

Sametime Connect にログオンするには、以下の手順を参照してください。

1. ユーザー名とパスワードを入力します。
2. オプション — Sametime Connect にパスワードを記憶させる場合は、矢印キーを使用して「パスワードを記憶する」フィールドで「はい」を選択します。

**注:** このオプションを選択すると、デバイスにパスワードを保管できます。その後は、始動時に Sametime Connect パスワードの入力を要求されなくなります。

3. オプション — アプリケーションの開始時に Sametime Connect に自動的にログオンする場合は、矢印キーを使用して「自動的にログオン」フィールドで「はい」を選択します。

## 接続設定の変更

接続の設定を変更するには、以下の手順を実行します。

1. ログオン・パネルで、「**接続設定**」の隣にあるボタンを押します。
2. 「**サーバー情報**」タブで、以下の操作を実行します。
  - a. 「**Sametime サーバー**」フィールドで、Sametime Connect サーバーの名前を入力します。
  - b. 「**ポート**」フィールドで、Sametime Connect に使用するポート番号を入力します。

3. 「IAP 選択 (IAP selection)」タブで、以下の操作を実行します。  
ネットワークへの接続時に使用する Internet Access Point (IAP) を選択します。
4. 「完了」の隣にあるボタンを押して、変更内容を保管して終了します。あるいは  
<Esc> ボタンを押して、変更内容を保管せずに終了します。

---

## Sametime Connect メニューの操作

Sametime Connect メニューで選択可能なオプションについての詳細は、このセクションの説明を参照してください。

注: Sametime Connect メニューを開くには、Sametime Connect にログオンしているときに、デバイスの <Menu> ボタンを押します。

### 「ファイル」メニュー

- チャット: 他の Sametime Connect ユーザーとのチャット・セッションを開きます。

注: <Menu> -> 「チャット」を選択する前に、ユーザー・リストからアクティブ・ユーザーを選択する必要があります。

- チャットの循環 (Cycle chats): アクティブなチャット・セッションを選択できます。
- チャットのクローズ (Close chat): アクティブなチャット・ウィンドウを閉じます。
- チャットの保管 (Save chat): チャット・セッションをデバイスに保管します。
- ログオン: Sametime Connect に再接続します。
- ログオフ: Sametime Connect からログオフします。

### 「編集」メニュー

- 切り取り: チャット・ウィンドウからテキストを切り取ります。
- コピー: チャット・ウィンドウからテキストをコピーします。
- 貼り付け: チャット・ウィンドウにテキストを貼り付けます。
- すべて選択: チャット・ウィンドウ内のすべてのテキストを選択します。

### 「表示」メニュー

- チャットの管理 (Manage chats): 「チャットの管理 (Manage chats)」ウィンドウを開きます。チャットの管理について詳しくは、チャットの管理を参照してください。
- オンラインのみ表示 (Show online only): ユーザー・リストの中で現在オンラインの Sametime Connect ユーザーのみ表示するように指定します。
- グループ名を非表示 (Hide group names): すべての個人グループ名および公開グループ名を非表示にします。

### 「状況」メニュー

状況メッセージを選択できます。状況メッセージについて詳しくは、オンライン状況の変更を参照してください。

### 「ツール」メニュー

- ユーザー:



- ユーザーの追加: 新規ユーザーをユーザー・リストに追加します。
- ユーザーの削除 (Remove person): ユーザーをユーザー・リストから削除します。
- ニックネームの編集: ユーザー・リスト内のユーザーのニックネームを編集します。ニックネームの編集について詳しくは、ユーザーのニックネームの編集を参照してください。
- 検索: ユーザーを検索します。
- 接続設定: 接続の設定を変更します。詳しくは、接続設定の変更を参照してください。
- 設定: Sametime Connect の設定を変更します。Sametime Connect 設定の変更について詳しくは、Sametime Connect 設定の変更を参照してください。
- ログを表示 (View log): Sametime Connect ログを表示します。

#### 「ヘルプ」メニュー

Sametime Connect のバージョン情報を表示します。

---

## 他の Sametime Connect ユーザーへのメッセージの送信

他のユーザーへメッセージを送信するには、以下の手順を実行します。

1. 矢印キーを使用して、メッセージの送信先にするユーザー名をユーザー・リストの中から選択します。
2. 「チャット」の隣にあるボタンを押します。
3. テキスト領域にメッセージを入力します。
4. 「送信」の隣にあるボタンを押します。

## チャットの管理

チャットの管理機能を使用すれば、アクティブなチャット・セッションを表示して、チャット・ウィンドウ間をナビゲートすることができます。

**注:** 一度に複数のチャット・セッションをアクティブにすることができますが、同時に表示できるチャット・ウィンドウの数は 1 つだけです。

チャットを管理するには、以下の手順を実行します。

1. 「チャットの管理 (Manage chats)」の隣にあるボタンを押します。

**注:** チャット・ウィンドウが開いている場合は、「ユーザー・リスト (People list)」の隣のボタンを押してから「チャットの管理 (Manage chats)」の隣のボタンを押すと、「チャットの管理 (Manage chats)」パネルが開きます。

2. 矢印キーを使用して、開きたいアクティブ・チャット・セッションを選択し、「チャットの続行 (Continue chat)」の隣にあるボタンを押します。



---

## ユーザーまたはグループの管理

ユーザー・リストには、連絡を取り続けたいユーザーやメッセージの送受信先にするユーザーのリストが含まれています。ユーザー・リストに対する Sametime Connect ユーザーの追加または削除は可能ですが、リスト内の各ユーザーをグループに割り当てる必要があります。Sametime Connect ユーザーをユーザー・リストに追加する場合は、そのユーザーの個人グループを作成または選択する必要があります。

注: 個人グループの除去はサポートされていません。

会社の公開アドレス帳を基にした公開グループも使用できます。

注: 公開アドレス帳のメンバーシップは、公開グループの所有者が定義します。公開グループのメンバーを追加または削除することはできません。

詳しくは、以下のトピックを参照してください。

- Sametime Connect ユーザーの追加
- Sametime Connect ユーザーの削除
- ユーザーのニックネームの編集

## Sametime Connect ユーザーの追加

Sametime Connect ユーザーをユーザー・リストに追加するには、以下の手順を参照してください。

1. <Menu> ボタンを押し、矢印キーを使用して「ツール」にスクロールします。
2. 矢印ボタンを使用して「ユーザー」を選択し、「メンバーを追加」を選択して、「選択」の隣にあるボタンを押します。
3. 「ユーザー名」には、ユーザー・リストに追加する連絡先の名前を入力するか、完全な E-mailアドレスを入力します。入力するユーザーの氏名がわからない場合、ワイルドカードを利用して Sametime Connect ユーザーを検索することができます。ワイルドカードの使用について詳しくは、『ワイルドカードを使用する Sametime Connect ユーザーの検索』を参照してください。

注: 「完了」の隣のボタンを押してから、入力した文字列に一致する名前が検索されるまで、若干時間がかかります。ここで表示されたユーザーのリストから、ユーザー・リストに追加するユーザーを選択できます。一致するユーザーが 10 を超えると、検索を絞り込むためにさらに情報を入力するよう要求するダイアログ・ボックスが表示されます。

4. オプション — ユーザーのニックネームを入力します。この名前は、ユーザー名の代わりとして、自分のユーザー・リストにのみ表示されます。
5. 既存の個人グループ名を選択して、新規の連絡先をグループに割り当てます。新規のグループを作成するには、新規の個人グループの名前を入力します。
6. 「完了」の隣にあるボタンを押して、このユーザーをリストに追加します。

注: 指定したグループにユーザーがすでに登録されている場合、そのユーザーは再度追加されますが、ユーザー・リストは未変更のままです。ユーザーがユーザー・リスト内の別のグループに登録されている場合、そのユーザーは再追加されません。同じユーザーを複数のグループに置くことはできません。

## ワイルドカードを使用する Sametime Connect ユーザーの検索

ユーザー・リストに追加するユーザーの氏名がわからない場合は、「ユーザー名」フィールドに、名前の最初の数文字とワイルドカードのアスタリスクを入力します。例えば、**Smith** という名前の Sametime Connect ユーザーをすべて検索する場合、「ユーザー名」フィールドに「**Smi\***」と入力します。「完了」の隣にあるボタンを押すと、**Smith** という名前のすべてのユーザーが検索されます。

**注:** Sametime Connect メッセージング・サーバーは、ワイルドカードを使用できるよう構成する必要があります。Sametime Connect メッセージング・サーバーでワイルドカードにアスタリスクを使用する方法については、お客様の組織の技術サポート担当者にお問い合わせください。

ワイルドカードにアスタリスクを使用して Sametime Connect ユーザーを検索する場合、「完了」の隣のボタンを押してから入力した文字列に一致する名前が検索されるまで、若干時間がかかります。ここで表示されたユーザーのリストから、ユーザー・リストに追加するユーザーを選択できます。一致するユーザーが 10 を超えると、検索を絞り込むためにさらに情報を入力するよう要求するダイアログ・ボックスが表示されます。

## Sametime Connect ユーザーの削除

Sametime Connect ユーザーをユーザー・リストから削除するには、以下の手順を参照してください。

1. 削除するユーザーを選択します。
2. <Menu> ボタンを押し、矢印キーを使用して「ツール」にスクロールします。
3. 矢印ボタンを使用して「ユーザー」を選択し、「ユーザーの削除 (Remove person)」を選択して、「選択」の隣にあるボタンを押します。
4. 「OK」の隣にあるボタンを押して、ユーザーを削除します。あるいは、「キャンセル」の隣にあるボタンを押して、そのユーザーをリスト内に残します。

## ユーザーのニックネームの編集

ユーザー・リストでのユーザーの表示名を変更したい場合は、ユーザーのニックネームを編集します。

**注:** ニックネームは、自分以外のユーザーには表示されません。

ニックネームを編集するには、以下の手順を実行します。

1. 矢印キーを使用して、変更するユーザーをユーザー・リストの中から選択します。
2. <Menu> ボタンを押し、それぞれ矢印キーを使用して、「ツール」を選択し、「ユーザー」を選択してから、「ニックネームの編集」を選択します。
3. 新しいニックネームを入力して、「完了」の隣にあるボタンを押します。

---

## オンライン状況の変更

自分のオンライン状況を変更し、自分の状況がアクティブ、離席中、応答不可のいずれであるかをユーザー・リスト内の他の Sametime Connect ユーザーに通知します。状況メッセージは、「**状況メッセージの編集 (Edit status messages)**」パネルで定義できます。

オンライン状況を変更するには、以下の手順を実行します。

1. <Menu> ボタンを押し、矢印キーを使用して「**状況**」にスクロールします。
2. 矢印キーを使用して、オンライン状況を選択します。以下のオプションのいずれかを選択してください。
  - 応答できます
  - コンピューターを使っていません
  - 応答できません
  - 状況メッセージの編集 (Edit status messages)

**注:** オンライン状況メッセージを編集すると、カスタムのオンライン状況メッセージを作成して表示できます。上記の各状況メッセージごとに 4 つのカスタム・メッセージを作成して保管できます。例えば「応答できます」メッセージには、異なる 4 つのメッセージを作成して保管することができます。

3. 希望するメッセージを選択したら、「**選択**」の隣にあるボタンを押します。

## 現在のオンライン状況メッセージの編集

オンライン状況メッセージを編集したり、新規状況メッセージを作成するには、以下の手順を参照してください。

1. <Menu> ボタンを押し、矢印キーを使用して「**状況**」にスクロールします。
2. 矢印キーを使用して「**状況メッセージの編集 (Edit status messages)**」を選択し、「**選択**」の隣にあるボタンを押します。
3. 矢印キーを使用して編集対象のメッセージを選択し、新規メッセージを入力します。
4. 新規メッセージが完成したら、「**完了**」の隣にあるボタンを押します。

---

## Sametime Connect 設定の変更

Sametime Connect 設定の変更についての詳細は、以下を参照してください。

### 「起動 (Start up)」タブ

- 起動状況 (Start up status): Sametime Connect の起動時に表示する状況を選択します。矢印キーを使用して、状況を選択してください。
- すべてのグループを自動展開 (Auto expand all groups): Sametime Connect にすべてのユーザー・グループを自動で展開させるか縮小させるかを指定します。矢印キーを使用してこの値を設定します。ユーザー・グループを展開して表示する場合は値を「はい」に設定し、グループを縮小して表示する場合は値を「いいえ」に設定してください。

### 「チャット」タブ

タイム・スタンプ・オン (Time stamp on): タイム・スタンプをオンまたは

オフにします。矢印キーを使用してこの値を設定します。タイム・スタンプをチャット・ウィンドウに表示する場合は値を「はい」に設定し、タイム・スタンプをチャット・ウィンドウに表示しない場合は値を「いいえ」に設定してください。

### 「アラート」タブ

- Sametime がフォアグラウンドのときにメッセージ・プレビュー (Message preview when Sametime is in foreground):
  - 受信チャット (Incoming chats) - Sametime Connect がフォアグラウンドでアクティブになっている間、別のユーザーがチャット・セッションを開始したというメッセージ・プレビューを表示します。矢印キーを使用してこの値を設定します。メッセージ・プレビューを受け取る場合は値を「オン」に設定し、メッセージ・プレビューを受け取らない場合は値を「オフ」に設定してください。
  - 受信返答 (Incoming responses) - Sametime Connect がフォアグラウンドでアクティブになっている間、新規チャット返答のメッセージ・プレビューを表示します。矢印キーを使用してこの値を設定します。新規返答プレビューを受け取る場合は値を「オン」に設定し、新規返答プレビューを受け取らない場合は値を「オフ」に設定してください。
- Sametime がバックグラウンドのときにメッセージ・プレビュー (Message preview when Sametime is in background):
  - 受信チャット (Incoming chats) - Sametime Connect がバックグラウンドでアクティブになっている間、別のユーザーがチャット・セッションを開始したというメッセージ・プレビューを表示します。矢印キーを使用してこの値を設定します。メッセージ・プレビューを受け取る場合は値を「オン」に設定し、メッセージ・プレビューを受け取らない場合は値を「オフ」に設定してください。
  - 受信返答 (Incoming responses) - Sametime Connect がバックグラウンドでアクティブになっている間、新規チャット返答のメッセージ・プレビューを表示します。矢印キーを使用してこの値を設定します。新規返答プレビューを受け取る場合は値を「オン」に設定し、新規返答プレビューを受け取らない場合は値を「オフ」に設定してください。

注: チャット・ウィンドウをオープンしているときに他の Sametime Connect ユーザーからメッセージが送信された場合は、白色の感嘆符が付いた緑色のアイコンがアクティブ・チャット・ウィンドウの上部に表示されます。チャットの管理機能を使用して、新規チャット・ウィンドウを開いてください。管理対象チャットの使用について詳しくは、チャットの管理を参照してください。

---

## Sametime Connect のクローズ

アプリケーションを終了するには、**Exit** を選択するか、ホット・キーを使用します。ホット・キーを使用するには、**Ctrl + E** を同時に押します。

注: メニュー・バーの「ファイル」メニューから Sametime Connect をログオフすることもできます。メニュー・バーを開くには、デバイスの **<Menu>** ボタンを押します。

---

## Sametime Connect のヒント

Sametime Connect をより効率的に使用するための手助けとなるヒントについては、このセクションを参照してください。

- Sametime Connect フレームのナビゲート
- 検索機能の使用
- Sametime Connect での E メール・ホット・リンクの操作

### Sametime Connect フレームのナビゲート

矢印キーと一緒に <Ctrl> ボタンを使用すれば、Sametime Connect 内のさまざまなフレームにナビゲートできます。

この機能を使用するには、<Ctrl> を押しながら矢印キーを押して、チャット入力ボックス、ユーザー・リスト、およびチャット・トランスクリプトの間を移動します。

### 検索機能の使用

検索機能を使用すれば、個人グループ内の Sametime Connect ユーザーを検索できます。

ユーザー・リストに割り当てられたユーザーを検索するには、以下の手順を参照してください。

1. ユーザー・リストが開いている状態で、「検索」の隣にあるボタンを押します。ユーザー・リストの下に検索ボックスが表示されます。

**注:** ホット・キー <Ctrl> + F を使用して、ユーザー・リストの下に検索ウィンドウを開くこともできます。ユーザー・リスト・フレームがアクティブであるときに、Communicator キーボードから入力した場合にも、検索ウィンドウが開きます。Sametime Connect のフレーム間でのナビゲートについて詳しくは、『Sametime Connect フレームのナビゲート』を参照してください。

2. 検索対象となるユーザー名の最初の文字を入力してください。ユーザー・リストの中で、その文字で始まるユーザーのリストが表示されます。例えば文字 A を入力すると、ユーザー・リストの中で名前が A で始まるすべてのユーザーが表示されます。

### Sametime Connect での E メール・ホット・リンクの操作

E メール・ホット・リンクでは、Everyplace リモート・メールを使用しません。コピーおよび貼り付け機能を使用して、メールの送信先にする E メール・アドレスを「**Everyplace リモート・メール (Everyplace remote mail)**」 E メール・フィールドにコピーしてください。



---

## 第 6 章 トラブルシューティング

Everyplace Client のトラブルシューティングについては、このセクションの説明を参照してください。

- Everyplace Client のエラー・メッセージ
- 新規連絡先の作成
- 時間帯の管理
- カレンダーの招待の操作
- Mobility Client による SSL サーバーへの Everyplace Client の同期化

---

### Everyplace Client のエラー・メッセージ

エラー・メッセージ、その原因、および推奨のユーザー処置が記載された以下のリストを参照してください。

**アプリケーションを実行するためのメモリーが不足しています。(Not enough memory to run application.)**

**原因:** Everyplace Client ユーザーが現在実行しているアプリケーション数が多すぎます。

**ユーザー処置:** アクティブ・アプリケーションをいくつか終了して、Everyplace Client により多くのメモリーを割り振るようにします。

**メール・フォルダー Everyplace からの E メール情報を検索できません。(Unable to retrieve e-mail information from mail folder Everyplace.)**

**原因:** Everyplace メール・フォルダーが存在しません。

**ユーザー処置:** Everyplace Client 内で E メールを同期化して、Everyplace メール・フォルダーを作成します。

**SyncML: ユーザー ID が見つかりません。(SyncML: User ID not found.)**

**原因:** 有効な Everyplace ユーザー ID が見つかりません。

**ユーザー処置:** ネットワーク・プロファイル内の情報が正しいことを確認します。ネットワーク・プロファイル内の情報が正しいことを確認した後もこのエラー・メッセージが出力される場合は、Everyplace Client を再インストールして再構成してください。

**SyncML: パスワードが見つかりません。(SyncML: Password not found.)**

**原因:** 有効な Everyplace パスワードが見つかりません。

**ユーザー処置:** ネットワーク・プロファイル内の情報が正しいことを確認します。ネットワーク・プロファイル内の情報が正しいことを確認した後もこのエラー・メッセージが出力される場合は、Everyplace Client を再インストールして再構成してください。

**SyncML: Internet Access Point が見つかりません。(SyncML: Internet Access Point not found.)**



**原因:** ネットワーク・プロファイル内の Internet Access Point が正しく構成されていません。

**ユーザー処置:** Everyplace Client ネットワーク・プロファイル内の Internet Access Point を再構成します。

**SyncML: SyncML ソフトウェアのバージョンがサーバーでサポートされていません。(SyncML: Unsupported SyncML Software version on server.)**

**原因:** サーバー上の SyncML ソフトウェアのバージョンはサポートされていません。

**ユーザー処置:** お客様の組織の技術サポート担当者に問い合わせ、サポートされる SyncML ソフトウェアのバージョンをサーバーにインストールしたことを確認してください。

**SyncML: ユーザー名またはパスワードが無効です。(SyncML: Invalid user name or password.)**

**原因:** デバイスのユーザー名またはパスワードが、Everyplace Synchronization Server のユーザー名またはパスワードと一致しません。

**ユーザー処置:** Everyplace Synchronization Server のユーザー名およびパスワードが、Everyplace Client ネットワーク・プロファイル内のユーザー名およびパスワードの値と一致することを確認します。

**SyncML: 同期サーバーがビジーです。(SyncML: Sync server was busy.)**

**原因:** Everyplace Synchronization Server がビジーです。

**ユーザー処置:** もう一度同期化してみてください。それでもこのエラー・メッセージが出力される場合は、お客様の組織の技術サポート担当者に問い合わせてください。

**SyncML: サーバーが応答していません。(SyncML: Server is not responding.)**

**原因:** Everyplace Synchronization Server がビジーです。

**ユーザー処置:** もう一度同期化してみてください。それでもこのエラー・メッセージが出力される場合は、お客様の組織の技術サポート担当者に問い合わせてください。

**SyncML: HTTP 認証に失敗しました。(SyncML: HTTP authentication failed.)**

**原因:** デバイスのユーザー名またはパスワードが、Everyplace Synchronization Server の HTTP 認証ユーザー名またはパスワードと一致しません。

**ユーザー処置:** Everyplace Synchronization Server の HTTP 認証ユーザー名およびパスワードが、Everyplace Client ネットワーク・プロファイル内のユーザー名およびパスワードの値と一致することを確認します。

---

## 新規連絡先の作成

Nokia Communicator で新規連絡先を作成する場合は、分類されていない汎用フィールドがいくつかあります。これには電話および FAX が含まれます。これらのフィールドを名前変更せずに完成させると、これらのフィールドは別の電話および別の FAX としてサーバーに同期します。このような事態を回避するには、電話または



FAX フィールド上にカーソルを置いて「名前変更」フィールドの隣にあるボタンを押し、フィールドの名前を変更します。矢印キーを使用して、「電話」フィールドの名前を「電話 (業務用) (Telephone (Business))」または「電話 (私用) (Telephone (Private))」に変更します。同様に矢印キーを使用して、「FAX」フィールドの名前を「FAX (業務用) (Fax (Business))」または「FAX (私用) (Fax (Private))」に変更します。フィールド名を変更することにより、これらのフィールドは、選択された分類済みフィールドを使用してサーバーに同期します。

---

## 時間帯の管理

カレンダー・イベントの同期が不正になるのを防ぐために、デバイス上の時間帯とサーバー上の同期プロファイルの時間帯が常に同じになるようにします。

Communicator の Clock の「市区町村の変更 (Change city)」機能を使用して、時間帯を変更します。「現在の市区町村 (Current city)」に指定する値は、デバイスが現在ある場所の時間帯を表します。カレンダー表示に示されるイベントの時刻は、この設定に基づいています。例えば、表示が 8:00 で「現在の市区町村 (Current city)」がマサチューセッツ州ボストンに設定されている場合、そのイベントは 8:00 EST であることを意味します。これは、異なる時間帯の間を移動する場合に合わせるべき時間帯です。

**注:** デバイス上に設定している時間帯の変更について詳しくは、デバイスに付属の資料を参照してください。

デバイスの時間帯は、サーバー上の同期プロファイルで指定した時間帯と一致している必要があります。これらの一方を変更した場合、もう一方の変更も必要です。デバイスの「現在の市区町村 (Current city)」の設定と同期プロファイルの設定が一致しないと、一部のイベントの時刻が一致しなくなる可能性があります。同期プロファイルの変更について詳しくは、『同期プロファイルの作成』を参照してください。

---

## カレンダーの招待の操作

Everyplace Client は、カレンダーの招待をサポートしていません。別のユーザーから送られた招待をデバイスに同期しようとしても、その招待は招待としてデバイスに同期されません。また、招待の項目がカレンダーに追加されることもありません。招待は E メールとしてデバイスに同期されます。招待の項目をデバイスのカレンダーに追加するには、手作業で行う必要があります。

---

## Mobility Client による SSL サーバーへの Everyplace Client の同期化

GPRS Internet Access Point (IAP) を使用する設定の Mobility Client によって Everyplace Client を Secure Sockets Layer (SSL) サーバーに同期する場合、通信エラーが原因で同期の障害が繰り返し発生することがあります。通信エラーによる同期障害の頻発を避けるためには、Mobility Client のキープアライブ設定値を増やす必要があります。



---

## 第 7 章 Everyplace Client のアンインストール

Nokia Communicator から Everyplace Client ソフトウェアをアンインストールするには、以下の手順を実行します。

1. Everyplace Client がデバイス上で稼働していないことを確認します。
2. デスクトップから、「ツール」->「コントロール・パネル」->「データ管理 (Data management)」->「アプリケーション・マネージャー (Application Manager)」を選択します。
3. 矢印キーを使用して、「アプリケーション・マネージャー (Application Manager)」パネルの「IBM Everyplace Client」を選択し、「除去」の隣にあるボタンを押します。
4. 「OK」の隣にあるボタンを押して、Everyplace Client の削除を確認します。
5. Everyplace Client をデバイスからアンインストールしたら、「OK」の隣にあるボタンを押して、アプリケーション・マネージャーに戻ります。

注: Nokia Communicator からすべてのアプリケーションを削除する場合は、上記の指示に従います。Nokia Communicator からのアプリケーションの削除についての詳細は、デバイスに付属の資料を参照してください。アプリケーションを削除したら、バッテリーを取り外してデバイスをリブートする必要があります。



---

## 付録. 著作権および商標

著作権

商標

---

### 著作権

© Copyright IBM Corporation 1994, 2004. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2004.

IBM Web サイトは別の所有権および著作権表示が付されている場合がありますが、その場合には、これにしたがっていただきます。

---

### 商標

IBM、Everyplace、Lotus、Lotus Domino、Passport Advantage、Sametime、WebSphere は、IBM Corporation の商標です。

Microsoft は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。



## 索引

日本語、数字、英字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

### [ア行]

- アプリケーション
  - 開始 11
  - 終了 11
  - すべての同期化 12
  - 1つの同期化 13
- アプリケーションの開始 11
- アプリケーションの終了 11
- インストール
  - Everyplace Client 3
  - Nokia Communicator 上 4
- インストール要件 3
  - サーバー 3
  - Nokia Communicator 3

### [カ行]

- 概要 i
- 関連資料 2
- 規則
  - ユーザーズ・ガイド 1

### [サ行]

- 商標 33
- 資料
  - 関連 2

### [タ行]

- データ
  - 同期化 11
- データの同期化 11
  - すべてのアプリケーションの同期化 12
  - 1つのアプリケーションの同期化 13
- デジタル証明書
  - オプションのインストール 5
- 同期プロファイル
  - 作成 7
- 同期プロファイルの作成 7
- 特記事項 33

### [ナ行]

- 入門 7
- ネットワーク・プロファイル
  - 構成 8
- ネットワーク・プロファイルの構成 8

### [ハ行]

- ホット・キー 11
  - 使用 11
- ホット・キーの使用 11

### [マ行]

- メール
  - 使用 14
- メールの使用 14

### [ヤ行]

- ユーザーズ・ガイドの表記規則 1

- ユーザー・インターフェース
  - Everyplace Client 9
- 要件
  - インストール 3

### E

- Everyplace Client
  - インストール 3, 4
  - 概要 1
  - 起動 7
  - 終了 9
  - 使用 9
  - 入門 7
- Everyplace Client について 1
- Everyplace Client のインストール 4
  - オプション - デジタル証明書のインストール 5
- Everyplace Client の起動 7
- Everyplace Client の終了 9
- Everyplace Client の使用 9
- Everyplace Client のホット・キー 11
- Everyplace Client ユーザー・インターフェース 9

### M

- 「My own」ボタン
  - 構成 8
- 「My own」ボタンの構成 8

### N

- Nokia Communicator
  - インストール要件 3